

## 新釈漢文大系 詩人編 (全12巻) 刊行開始!

— 中国の古典詩を代表する詩人13人の作品を、伝統的な訓読、美しい日本語による  
明解な現代語訳、理解・鑑賞に役立つ解説により、現代によみがえらせる。 —

株式会社明治書院(本社:新宿区大久保 代表取締役社長:三樹蘭)は、令和元年5月13日(月)に、『新釈漢文大系 詩人編4 李白(上)』『新釈漢文大系 詩人編6 杜甫(上)』を刊行いたしました。

昨年2018年5月、「新釈漢文大系」は、全120巻・別巻1で完結した。しかし、中国古典を網羅した本大系中、詩を扱う巻は『唐詩選』と『日本漢詩』のみであり、収録作品に文学に関するものが少ないことを惜しむ声は少なからずあった。詩は中国の文学の中でも最も重要なジャンルである。これらの状況から、読者の要望に応えるべく、詩を対象とした「詩人編 全12巻」を、続刊として本シリーズに新たに加えることとなった。完結は、2024年5月を予定している。

### ■特色

- ・厳密な校閲を経た原文と訓読(書き下し文)を上下に対比し、現代語訳・語注・詩解(解説・鑑賞)を施しました。
- ・作品の読みどころ・背景・エピソード、中国古典文学史上の位置づけ、日本における受容等に言及しました。

### ■全巻構成

- |          |                             |
|----------|-----------------------------|
| 1 陶淵明    | 釜谷武志(神戸大学教授)                |
| 2 謝靈運・謝朓 | 齋藤希史(東京大学教授)                |
| 3 王維・孟浩然 | 二宮美那子(滋賀大学准教授)・好川聡(岐阜大学准教授) |
| 4 李白(上)  | 和田英信(お茶の水女子大学教授)            |
| 5 李白(下)  | 同上                          |
| 6 杜甫(上)  | 川合康三(京都大学名誉教授)              |
| 7 杜甫(下)  | 同上                          |
| 8 韓愈・柳宗元 | 赤井益久(國學院大学学長)               |
| 9 杜牧     | 齋藤 茂(大谷大学講師・元大阪市立大学教授)      |
| 10 蘇軾    | 内山精也(早稲田大学教授)               |
| 11 黄庭堅   | 緑川英樹(京都大学准教授)               |
| 12 陸游    | 浅見洋二(大阪大学教授)                |

## ■『新釈漢文大系 詩人編』刊行にあたって(編者：川合康三)

中国ほど詩が重きをなした国は、古今東西を見渡しても、ほかに類を求めがたいことでしょう。およそ筆を手にする者であれば、上は皇帝・王侯から下は無位無冠の士人に至るまで、誰しものが詩を物したのです。貴顕の人々は事あるごとに集って詩を作り合い、士大夫どうしの間でも詩をやりとりすることは日常の行為でした。詩は欠くことのできない読書人のたしなみであり、社交の手段であったのです。

もちろん単に交際の具にとどまるものではありません。詩が包括する範囲は広く、政治を論じ、歴史を語り、自己の思想を吐露する、それも詩のなかに含まれました。詩は中国の知的営為の総体に関わり、その中心に位置したといっても過言ではありません。

日本においても早くから漢詩を受け入れ、文学のなかに浸透させてきたことは周知のとおりです。奈良朝から近代に至るまで、漢文学の伝統は日本文学の骨格として、強く大きな流れを形成してきました。

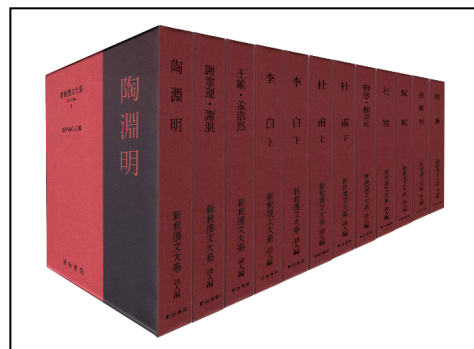
一方、近年では漢詩を世界の文学のなかに位置づけて新たに捉え直そうという動きも生じています。固定した枠組みのなかから解放し、「詩」として読み直してみれば、中国の詩は今日の生き生きとした文学として新たな様相のもとに蘇るはずです。

このたび完結した『新釈漢文大系』は、経史子集、すなわち経学・史学・思想・文学、その全体を網羅した重要な典籍が一堂に集められています。引き続き中国の詩人のなかからとりわけ精彩を放つ十三人を取り上げ、『詩人編』を編むことになりました。東晋の陶淵明に始まり、南宋の陸游に至る詩人、彼らはいずれも詩という文体によって、自分の人生から生じた感懐、人間存在についての省察、そして世界に対する思索を表現しています。そのほかにも省きがたい詩人は少なくありませんが、とりあえずはこの十二巻によって中国の詩の相貌を捉えたいと思います。

『新釈漢文大系』が二十世紀の、そして昭和・平成の金字塔であるとすれば、『詩人編』は二十一世紀の、そして新たな元号のもとに新たな時代を開くものとして、漢詩愛好者はもちろん、広く中国の歴史・思想、さらには世界の文学に心を寄せる読者の方々の期待に応えるものにしたいと願っています。

## ■書誌情報

- ◇編者：川合康三(京都大学名誉教授)
- ◇体裁：A5判・上製(特上バクラム装)・函入
- ◇頁数：各巻平均512頁
- ◇収録作品数：各巻平均200首
- ◇定価：本体10,000円(税別・予価)
- ◇刊行：2019年5月、第1回配本2冊。以後、年2回1冊ずつ刊行。2024年5月完結予定。



## 【この件に関するお問い合わせ先】

(株)明治書院 社長室：今村(m.imamura@meijishoin.co.jp) 電話：03-5292-0174